

エレベーターやバルコニー、非常時の対応

普段は正常に利用できている設備も地震や台風の災害時は思わぬトラブルに巻き込まれることがあります。

いざという時のために、対応方法や準備を心掛けましょう。

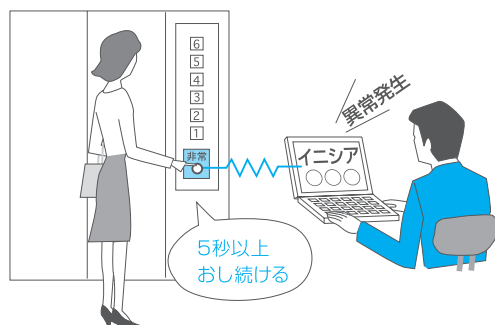
エレベーター〈非常時の対応〉

エレベーターに閉じ込められたら

地震や落雷など突然の停電で、エレベーターに閉じ込められてしまった場合、エレベーターの中は危険ではありません。万が一閉じ込められても、あわてず、以下のことを守ってください。

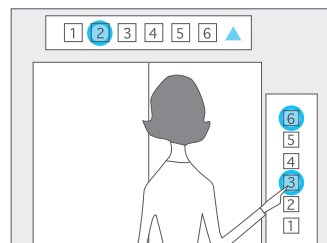
- 「操作盤の『非常呼び出しボタン』を5秒以上おし続ける。応答がなくても、通報は管理会社またはエレベーター管理会社に送られます。」
- 「ドアは無理に開けない。」
- 「エレベーター内で飛び跳ねたり、揺すったりしない。」

※エレベーターの中には停電灯や換気・通気が配慮されています。静かに係員からの連絡などを待ちましょう。



地震や火災が発生したら

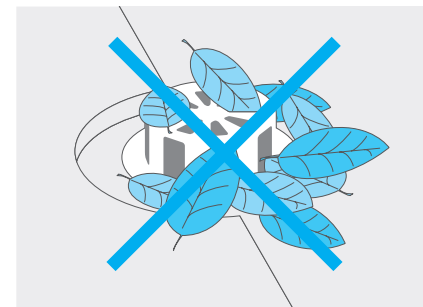
地震や火災が発生したら、エレベーターは使用しないでください。万が一、乗っているときに遭遇した場合は最寄り階へ自動着床する仕組みとなっています。また、地震等によりエレベーターが停止した場合、エレベーターの運転再開は、作業員による安全確認が必要となるので、時間がかかります。



バルコニー〈台風など大雨の災害〉

排水不良

バルコニーの排水溝などに枯葉などが溜まっていると排水不良を起こし、バルコニーが浸水し、下階に漏水することがあります。排水溝にゴミなどが溜まっていないか確認しておきましょう。



強風

台風などの強風は、時にバルコニーのプランターを吹き飛ばしたり、避難用のパーテーションを破損させたりすることもあります。お部屋の中に入れることが出来るものは、一時的に移動させるなど事前の準備を心掛けてください。

